Engineer プラットフォーム

1,022件のマイグレーションを差分検査で保護

新規インストールと、インストール後に全マイグレーションを適用する2通りでデータベースを構築し、不一致で失敗するCIゲートを設け、1,022件のマイグレーションにわたるスキーマの整合性を保った。

2025

1,022

2通りの構築で整合性を守るマイグレーション

状況. 多くのプロジェクトでは、スキーマを、最初からつくる初期設定と、成長を重ねたマイグレーションの2通りで記述する。同じDBになるはずでも検証がなく、ずれは新環境が本番と違う動作をするまで、たいてい最悪の時点まで、見えなかった。

課題. 定期的に同じだと信じるのでなく、自動で同一性を実証する必要があった。

行動. 036から1102までの番号を持つ1,022件のマイグレーションで版管理し、順序の規律を地味でも必須とした。CIは毎回、最新の初期スキーマからの構築と、初期スキーマに全移行を順番に再実行する構築を行って比較する。簡単な構造だけでなく投入データも比べる。参照テーブルの誤った補完は列の追加忘れと同じほど有害でも、片方しかスキーマ差分に出ないためだった。不一致は差分を表示してビルドを失敗させる。

結果. 新しい環境と長年稼働した環境が同じDBであることを、想定でなく検査した。作成者は再実行でも新規構築でも動く移行を書く必要があり、素早いALTER以上の思考を要する。それが目的であり、別の選択肢は、正しい答えが必要で考える時間がない復元時に初めて知ることだった。

この経験をお客様のプロジェクトに

「1,022件のマイグレーションを差分検査で保護」を、お客様の組織の似た課題を考える出発点にしてください。この実績を支えたサービスを、お客様のプロジェクトにも提供できます。 変更を検証し、リリースし、元に戻せる仕組みを整え、金曜の深夜ではなく火曜の午後にお客様へ届けられるようにします。

サービスを見る お問い合わせ →

結果の背景を確かめる

この事例の状況、判断、結果をご覧ください。どの部分がお客様の制約の下でも生かせるか、どこに別の方法が必要かをご相談いただけます。 1,022件のマイグレーションを差分検査で保護 — 1,022 2通りの構築で整合性を守るマイグレーション

サービスを見る お問い合わせ →

マイグレーションとスキーマは今も一致していますか？

納品を担当するエンジニアに、プロジェクトについてご相談ください。着手前に、業務範囲、価格の算定方法、引き継ぎ内容を書面で合意します。

担当した役割：データベースエンジニア。 関連する分野： データベース, PostgreSQL, データガバナンス, DevOps, 信頼性・バックアップ, 移行・モダナイゼーション および テスト・品質保証. こちらのサービスも得意としています データベース管理（DBA）, データベース移行・モダナイゼーション, AIが使えるデータの整備 および DevOps・CI/CD自動化.

お問い合わせ サービスを見る

より多くの実績の **一つです** — そのすべてをこのサイトで公開しています。

どの項目も、状況、課題、実施内容、変化という同じ構成で記載しています。

すべての実績を見る

必要な改善を定める

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

マイグレーションとスキーマは今も一致していますか？

「1,022件のマイグレーションを差分検査で保護」の判断の背景についてお尋ねください。仕事内容を説明し、お客様のプロジェクトを検討できる担当者が対応します。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://platform.engineer.company/ja/portfolio/1022-migrations-behind-a-schema-drift-gate/